

2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月13日

上場会社名 日本伸銅株式会社

上場取引所 東

コード番号 5753 URL http://www.nippon-shindo.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森山 悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 木本 道隆

TEL 072 229 0346

定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	23,338	14.3	1,200	24.6	801	46.8	555	46.1
2023年3月期	27,242	4.2	1,591	32.7	1,505	0.1	1,031	2.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	259.86		5.2	5.3	5.1
2023年3月期	473.86		10.4	9.8	5.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	14,972	10,927	73.0	5,113.31
2023年3月期	15,408	10,359	67.2	4,822.16

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,927百万円 2023年3月期 10,359百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	841	39	834	190
2023年3月期	157	158	3	223

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期		5.00		5.00	10.00	22	2.1	0.2
2025年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00	21	3.8	0.2
		5.00		10.00	15.00		4.8	

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	4.5	960	20.0	960	19.8	670	20.6	313.51

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	2,370,000 株	2023年3月期	2,370,000 株
期末自己株式数	2024年3月期	232,903 株	2023年3月期	221,603 株
期中平均株式数	2024年3月期	2,138,389 株	2023年3月期	2,177,015 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における世界経済は、諸外国で物価が上昇し、金融引締めが行われました。また、ウクライナ戦争が長期化し、エネルギー価格が高騰しました。2023年10月7日以降、イスラエルとイスラム組織ハマスとの軍事衝突が続いています。

わが国経済は、外国為替市場で円安が進行し、物価が上昇しました。また、原発の再稼働が遅れ、電力料金が高騰しました。3年余り続いた国の新型コロナウイルス感染対策は解除され、経済活動は徐々に正常化しました。

このような経営環境の下、当社では、伸銅品の需要が低迷したため、臨時休業日を設けて生産調整しました。当社の主要原料で国際相場商品の銅の建値は、2024年3月に最高値を更新しました。

当事業年度の経営成績は、販売数量が2万342トン（前年同期比14.9%減少）となり、売上高は233億38百万円（同14.3%減少）となりました。収益面につきましては、営業利益は12億円（同24.6%減少）となり、銅相場のリスクをヘッジするためのデリバティブ取引でデリバティブ損失が2億48百万円、デリバティブ評価損が2億1百万円発生したため、経常利益は8億1百万円（同46.8%減少）、当期純利益は5億55百万円（同46.1%減少）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の経営成績は、次のとおりであります。

(伸銅品)

当社の主力製品である伸銅品においては、販売数量1万9,650トン（前年同期比15.1%減少）、売上高は202億78百万円（同14.5%減少）となりました。

(伸銅加工品)

伸銅加工品においては、売上高は11億6百万円（前年同期比12.1%減少）となりました。

(その他の金属材料)

その他の金属材料においては、伸銅品原材料の転売が主で、売上高は19億54百万円（前年同期比13.4%減少）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は118億93百万円となり、前事業年度末に比べ4億12百万円減少しました。これは主に電子記録債権が5億27百万円増加したものの、受取手形が4億31百万円、棚卸資産が1億99百万円、売掛金が1億92百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は30億79百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円減少しました。

この結果、資産合計は149億72百万円となり、前事業年度末に比べ4億36百万円減少しました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は35億99百万円となり、前事業年度末に比べ10億31百万円減少しました。これは主に短期借入金7億90百万円、未払法人税等が2億25百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は4億45百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円増加しました。

この結果、負債合計は40億44百万円となり、前事業年度末に比べ10億4百万円減少しました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は109億27百万円となり、前事業年度末に比べ5億67百万円増加しました。これは主に当期純利益5億55百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は73.0%（前事業年度末は67.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1億90百万円（前事業年度末比33百万円の減少）になりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は8億41百万円（前年同期比6億83百万円収入の増加）となりました。これは主に、法人税等の支払額が4億61百万円であったものの、税引前当期純利益が8億1百万円、棚卸資産の減少が1億99百万円であったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は39百万円（同1億19百万円支出の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が56百万円であったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は8億34百万円（同8億31百万円支出の増加）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が7億90百万円であったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、兄弟会社であるサンエツ金属株式会社とのシナジーを追求し、競争力と企業価値の向上に努めて参ります。

当社は、その業績が主要原材料である電気銅や電気亜鉛の相場価格に大きな影響を受けますので、次期の業績予想は、電気銅や電気亜鉛の相場価格が一定であることを前提とした金額としております。前提よりも相場価格が上昇した場合は、販売数量が計画通りであっても売上高は増加し、また、相場差益が発生するため営業利益が計画よりも増加する一方、営業外費用としてデリバティブ損失を計上することになります。相場が下落した場合は、売上高が減少し、相場差損が発生することで営業利益が計画よりも減少する一方で、営業外収益として、デリバティブ利益を計上することになります。

次期の業績予想については、電気銅や電気亜鉛の価格を当期実績よりも高い水準に設定しており、伸銅品の販売量が同水準であることから、売上高については増収となる見込みです。営業利益については、当期に発生した相場差益が次期では発生しないことを前提にしているため、減益となる見込みです。経常利益については、当期に発生したデリバティブ損失およびデリバティブ評価損が次期では発生しないことを前提にしており、経常利益は増益となる見込みです。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2025年3月期 (予想)	24,400	960	960	670
2024年3月期 (実績)	23,338	1,200	801	555
増減 (増減率)	1,061 (4.5%)	△240 (△20.0%)	158 (19.8%)	114 (20.6%)

(金属相場価格の予想)

電気銅（千円/t）	1,300
電気亜鉛（千円/t）	433

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、配当金を株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけております。利益分配に関しては、業績に見合った配当を安定的かつ継続的に実施するとともに、将来の事業展開に必要な内部留保の充実に努めていくことを基本方針としています。

配当金につきましては、当期は1株当たり10円（中間配当5円、期末配当5円）とさせていただきます。また、次期につきましては、中間配当5円、期末配当10円、合計15円を予定いたしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	223	190
受取手形	1,162	730
電子記録債権	3,737	4,264
売掛金	2,800	2,608
商品及び製品	1,172	1,239
仕掛品	1,657	1,482
原材料及び貯蔵品	1,432	1,340
前払費用	20	19
その他	99	16
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,305	11,893
固定資産		
有形固定資産		
建物	550	551
減価償却累計額	△286	△304
建物（純額）	264	246
構築物	55	55
減価償却累計額	△45	△48
構築物（純額）	9	7
機械及び装置	1,957	1,997
減価償却累計額	△1,788	△1,850
機械及び装置（純額）	168	146
車両運搬具	64	65
減価償却累計額	△63	△64
車両運搬具（純額）	1	0
工具、器具及び備品	202	205
減価償却累計額	△160	△180
工具、器具及び備品（純額）	41	25
土地	2,078	2,078
建設仮勘定	—	1
有形固定資産合計	2,563	2,506
無形固定資産		
ソフトウェア	85	75
その他	4	10
無形固定資産合計	90	86
投資その他の資産		
投資有価証券	424	471
前払年金費用	9	6
その他	15	8
投資その他の資産合計	449	487
固定資産合計	3,103	3,079
資産合計	15,408	14,972

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	175	186
買掛金	1,328	1,134
短期借入金	2,490	1,700
未払金	53	116
未払費用	123	118
未払法人税等	241	15
賞与引当金	97	96
設備関係支払手形	6	7
その他	114	223
流動負債合計	4,630	3,599
固定負債		
長期未払金	42	40
退職給付引当金	19	21
繰延税金負債	345	373
その他	10	10
固定負債合計	417	445
負債合計	5,048	4,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金		
資本準備金	290	290
資本剰余金合計	290	290
利益剰余金		
利益準備金	46	49
その他利益剰余金		
土地圧縮積立金	958	958
繰越利益剰余金	7,802	8,334
利益剰余金合計	8,808	9,342
自己株式	△394	△417
株主資本合計	10,299	10,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	117
評価・換算差額等合計	60	117
純資産合計	10,359	10,927
負債純資産合計	15,408	14,972

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	27,242	23,338
売上原価	24,839	21,275
売上総利益	2,402	2,063
販売費及び一般管理費	811	862
営業利益	1,591	1,200
営業外収益		
受取配当金	12	13
受取保険金	—	23
デリバティブ評価益	22	—
その他	8	16
営業外収益合計	42	53
営業外費用		
支払利息	3	2
デリバティブ損失	34	248
デリバティブ評価損	90	201
その他	0	0
営業外費用合計	128	452
経常利益	1,505	801
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前当期純利益	1,505	801
法人税、住民税及び事業税	468	242
法人税等調整額	5	2
法人税等合計	473	245
当期純利益	1,031	555

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		土地圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,595	290	290	44	958	6,795	7,798
当期変動額							
剰余金の配当				2		△24	△21
当期純利益						1,031	1,031
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	2	—	1,007	1,009
当期末残高	1,595	290	290	46	958	7,802	8,808

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△262	9,420	36	36	9,457
当期変動額					
剰余金の配当		△21			△21
当期純利益		1,031			1,031
自己株式の取得	△131	△131			△131
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			23	23	23
当期変動額合計	△131	878	23	23	901
当期末残高	△394	10,299	60	60	10,359

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					土地圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,595	290	290	46	958	7,802	8,808
当期変動額							
剰余金の配当				2		△23	△21
当期純利益						555	555
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	2	—	532	534
当期末残高	1,595	290	290	49	958	8,334	9,342

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△394	10,299	60	60	10,359
当期変動額					
剰余金の配当		△21			△21
当期純利益		555			555
自己株式の取得	△22	△22			△22
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			56	56	56
当期変動額合計	△22	511	56	56	567
当期末残高	△417	10,810	117	117	10,927

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,505	801
減価償却費	157	140
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2	1
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	3	2
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	786	96
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△733	199
仕入債務の増減額 (△は減少)	△405	△183
その他	△507	247
小計	792	1,291
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△642	△461
営業活動によるキャッシュ・フロー	157	841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△109	△56
無形固定資産の取得による支出	△46	△18
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	—	37
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150	△790
自己株式の取得による支出	△131	△22
配当金の支払額	△21	△21
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3	△834
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4	△33
現金及び現金同等物の期首残高	227	223
現金及び現金同等物の期末残高	223	190

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(持分法損益等)
 該当事項はありません。

(セグメント情報)
 当社は、伸銅品関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	4,822.16円	5,113.31円
1株当たり当期純利益	473.86円	259.86円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益 (百万円)	1,031	555
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	1,031	555
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,177,015	2,138,389

(重要な後発事象)
 該当事項はありません。